

第5回冠攣縮研究会・プログラム

7月31日(土) 17:00 品川プリンスホテル メインタワー15F 「京都」

1. 開会の挨拶 (17:00~17:05)

熊本大学 小川久雄

2. 事務局より 国際共同前向き研究について (17:05~17:30)

冠攣縮研究会事務局 安田聡・高木祐介 (東北大学)

3. 一般演題 (17:30~19:18) (発表7分・討論5分)

座長: 熊本大学 小川久雄

- 1) 東北大学・高木祐介: 器質的心疾患のない院外心停止の病態と予後: 冠攣縮と心室細動の二重誘発試験の臨床的有用性
- 2) 広島鉄道病院・寺川宏樹: 持続陽圧呼吸 (CPAP) が狭心痛の改善に有効であった薬剤抵抗性冠攣縮性狭心症の一例
- 3) 岐阜大学・東賢志: 心先部心筋梗塞をきたした重症多枝冠攣縮の1例
- 4) 熊本大学・大庭圭介: 冠攣縮性狭心症から急性心筋梗塞を来たしたことが疑われた一例
- 5) 社会保険小倉記念病院・榎本操一郎: AMI 発症にスパズムの関与が示唆された EPA 血症の1例
- 6) 新潟県立新発田病院・田辺恭彦: たこつぼ型心筋症様壁運動異常を呈した冠攣縮性狭心症
- 7) 愛媛県立新居浜病院・河野浩明: OCT 検査中に冠攣縮を起こし、外膜と内膜中脈複合体との分離が認められた1症例
- 8) 日本大学・川野太郎: 心室細動による院外心肺停止で来院され、集中治療を施行するも救命し得なかった冠攣縮性狭心症の一部検例
- 9) 杏林大学・伊波巧: 冠攣縮が収縮障害の一因と推測された9症例

休憩 (19:18~19:40)

4. 特別講演 (19:40~20:40)

座長: 東北大学 下川宏明

Dr. Paolo G Camici MD

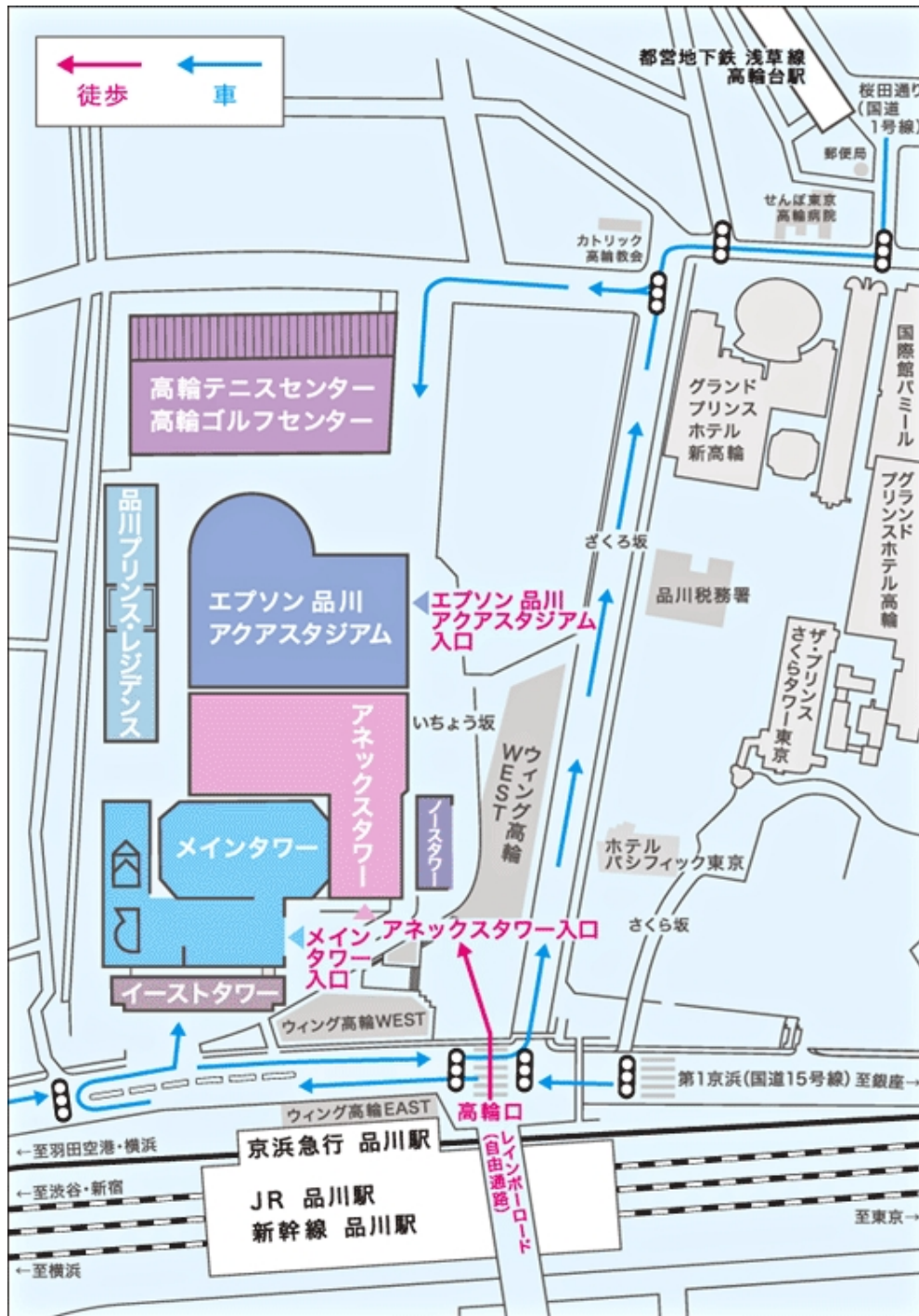
(Vita Salute University and Scientific Institute San Raffaele, Milan, Italy)

Title: Coronary microvascular dysfunction

5. 閉会の挨拶 (20:40~20:45)

東北大学 下川宏明

6. 情報交換会 品川プリンスホテル メインタワー12F 「彦根」



■新幹線・JR線・京浜急行の品川駅（高輪口）徒歩約2分。

■京浜急行 羽田空港駅から最速約14分。